

モラル・ハラスメントを許すな！⑱

DV(ドメスティック・バイオレンス)の現状

級とすれば、そのうち1人の女の子は将来DVによって「命の危険」を感じるようになる。

2, 30世帯のマンションならば、そのうち1世帯には「命の危険」を感じている奥さんがいると言うことだ。電車で男女半々100人乗っているとすると、2, 3人の女性は「命の危険」を感じたことがあるわけだ。

—これって、とても異常ではないか？

総人口12600万人のうち、女性が6500万人。うち20歳～60歳までの女性は3400万人いるので、そのうち命の危険を感じた女性を5%とすれば実に170万人に上るわけだ。60歳以上及び、20歳未満も含めれば、更に数字は跳ね上がる…。

■2日に1人、配偶者から殺されている！

『1年間で夫から殺された妻が約130人。妻から殺された夫が60人。計190人』

■シェルターに逃げ出した女性は、わずか5000人！

この5000人を、逃げなければ殺されたかもしれない女性と仮定してみよう。そして、「1:29:300」のハインリッヒの法則を適用してみよう。すると、5000:145000:1500000。つまり、殺されたかもしれない5千人の背景には、145千人の重大な危機にある人がおり、

150万人の危機をかかっている人がいると言うことである。上記の類推と符合する。

■5万人しか相談に来ないことの意味

危険を感じている人が170万人もいるのに、行政や民間の相談窓口に行く人は5万人しかいない。この数字にDVの問題の難しさが表れている。

1つは「恐怖」だ。第三者に話すことがばれた場合、DVがエスカレートする。即ち、相談に行く時点で命がけなのである。

2つめは、相談しても理解を得られないことへの「不安」である。DV男性は妻を孤立無援にするために、外では完璧にいい人を演じる。そのため妻が親族や友人に話しをしても「そうかなあ」と、理解されないことが多い。むしろ「よくあることよ」とか、「あなたにも悪いところがあるのじゃないの」と逆に責められたりして二重に傷ついてしまう。これを2次被害と言うが、こういうことが続くと学習性無力症に陥って相談に行ってもムダだと思うようになる。

3つめは、相談した後の「将来」の見込みが明るくないことである。例えば逃げることを指示されるかも知れない。しかし、逃げると言うことは、それまでの生活基盤も人間関係も全て捨て去るということであるから何のハン

家族相談士の継続研修でDV(ドメスティック・バイオレンス)及びジェンダーの研究で第一人者のお茶の水女子大学生活科学部の戒能民江教授(※)のお話を伺ってきました。

※戒能民江教授:お茶の水女子大学お茶の水女子大学生活科学部長の戒能民江先生は、学部長のほかに、学内ではCOEプログラム拠点リーダーと教授も務めている。さらに学外でも、政府・自治体の委員やNGOの委員を務めるなど超多忙の日々を送っている。戒能先生の専門はジェンダー法学で、女性に対する暴力であるDV(ドメスティック・バイオレンス)や女性の人権問題について研究している。

認知を広めるために、教授の話に少し尾ひれをつけて紹介したい。先ずは、驚くべき数字から。

■命の危険を感じた女性は170万人！

『アンケート調査の結果によれば、20歳以上の成人女性のうち、夫など(既婚者に限らない)からの暴力によって「命の危険を感じた」女性は5%』5%と言うと少ないように思うが、20人に1人。男女半々の40人学

離婚 Q & A

アメリカでの離婚、費用は？期間は？どのようにすれば？

Q: 離婚を考えています。お互い譲れない部分はあるものの、短期間で、費用も少なく済ませたいと考えています。どのように進めていけば良いのでしょうか？

A: 弁護士事務所によっては、協議離婚を勧めないところもありますが、当オフィスでは、協議離婚をお勧めしています。協議離婚では、「すべて同意」という前提の上で進めるので、クライアントにとっては短時間で済み、また、片方だけに弁護士が担当しますので費用も少なく済み、という利点があります。まずは、ご夫婦でよく話し合っ、相違点をなくすことから始めましょう。

■詳細は個々の状況により様々です。本稿では一般例として、ご参考ください。個別のケースについては専門の弁護士に相談してみましよう。



国際離婚、離婚に関する法的手続き、法律のご相談をお受け致しております。永住権、ビザなど移民法に関するご相談もあわせて承っております。日本語でどうぞ。

LIU & XU P.C. 総合法律事務所

Tel: 847-640-9671 (日本語) Fax: 312-276-8012

E-mail: information@lawoffice-usa.com (日本語可)

ディがない人でも難しい。まして、暴力のトラウマが残った子供を抱えた女性が経済的に自立しようにも、社会システムがなかなかそれを許してくれない。

4つめは、「過去」を切り捨てられないことである。「縁があって夫婦になったのだ」「これまでの年月を無にしたくない」という思い、「まだ1%の可能性が残っているかもしれない」という思いが足を引っ張る。ましてDV男性は暴力を振った後は反省したり優しくなったりするため、「夫を見捨てられない」

という気持ちも湧いてくる。しかし、我慢している間に2日に1人が殺され、5000人が命からがら逃げてくることになる。

また、子供は支配と服従の人間関係を学び、そのコミュニケーションパターンは受け継がれる。つまり、将来のDV加害者、そして暴力を容認する妻予備軍を育てているのである。こうして、世代間連鎖が続いていく。あなたが守らなければならないのは、先ず自分と子供であることを理解してほしい。

■日本の対応状況

国連からの外圧を受けて1999年に初めて調査した国は、「命の危険を感じた妻が5%」という数字に驚き、2001年にDV法を制定。2004年の改正では、「法は家庭に介入する」という方針を据えて「保護命令」=被害者からの申立てによって、裁判所が加害者に接近や徘徊の禁止を命ずることができるようになった。破れば懲役という実刑判決を出すことができる。

また現在各都道府県は、被害者の生活再建の自立支援策を策定している。シェルターを用意するだけではなく、精神的なケア、社会復帰への道筋、子供への対応の課題を170万人に対して示さなければならない。そう考えると、目前の救済策も大切だが、むしろ夫婦のあり方、家族の機能などについての社会教育を進めていかなければ対策が追いつかないと思う。

当パビリオンにシリーズで記事を掲載させていただいているが、とても貴重な啓発の場である。パビリオン共々ご声援いただければ幸いです。

(中尾 英司)

<著者紹介>

中尾英司 (家族相談士・シニア産業カウンセラー)

■メール: sodan@jiritusien.com

■プロフィール: 電話&メール相談、及び直接ご家庭に伺って家族カウンセリングを行い、虐待、ADHD、窃盗癖、ギャンブル依存、モラハラ、DV、離婚、会社のセクハラ・パワハラの問題などを手がけている。組織改革を成功させた後、会社の風土改革から家庭の風土改革に軸足を移す。シニア産業カウンセラーの育成、講演依頼COMの講師、テレビ東京「朝は楽しく!」の「我が家の事件簿」のコーナーでコメント出演。

■著 作: 「あきらめの壁をぶち破った人々」(日本経済新聞社)

「あなたの子どもを加害者にしないために」(生活情報センター)

■サイト: 「中尾相談室」, 「組織改革ご支援.COM」。(←Google入力)

■ブログ: 「あなたの子どもを加害者にしないために」

※中尾先生のオンライン講座も開講中です。詳しくはサイト[中尾相談室]を参照。



富士山コムでも購入可能です。
(www.fujisan.com)
富士山コムは海外在住(アメリカ・カナダ)の方のために日本のあらゆる商品をお届けするオンラインショッピングサイトです。

アメリカ生活に役立つ情報満載! パビリオン定期購読

【個人購読】

■必要事項■(※別紙にご記入ください。)

<選択> 12ヶ月購読希望 (\$24)
 毎号2冊での12ヶ月購読希望 (\$44)

<必須>

Name(Company Name):

Address: Zip:

TEL: E-mail:

●月一回発行(毎月月末) ※米国内のみ/日本郵送は別途

毎号1冊×12ヶ月(計12冊)=\$24

毎号2冊×12ヶ月(計24冊)=\$44

※バックナンバーをご希望の方は発行年月(または号数)をお知らせください。上記同料金でのカウントとなります。<2006年4月1日改定>

【グループ購読】

■必要事項■(※別紙にご記入ください。)

<選択> 20冊/12ヶ月購読希望 (\$350)
 40冊/12ヶ月購読希望 (\$600)

<必須> ※お届け先は一ヶ所のみでお願い致します。

Name(Company Name):

Address: Zip:

TEL: E-mail:

●月一回発行(毎月月末) ※米国内のみ/日本郵送は別途

毎号20冊(計240冊)=\$350(お一人・年間\$17.50)

毎号40冊(計480冊)=\$600(お一人・年間\$15)

※小部数または40人以上の大部数でも対応可能です。別途、お問い合わせください。

■お申込・送付先■

To: Pavilion Graphics Inc.

1699 Wall St. Suite 210, Mt. Prospect, IL 60056

E-mail: pavilion@johoya-usa.com

■お申し込み方法■

上記、必要事項を別紙にご記入(またはE-mail)、チェック添付の上、下記宛先までお送り下さい。チェック受取り後、弊社よりE-mail(またはTEL)にてご連絡させていただきます。

※E-mail(またはTEL)ご連絡先を必ずお知らせ下さい!